

令和2年度 事業報告

社会福祉法人 みちのく福祉会
法人本部

〒035-0011 青森県むつ市大字奥内字大室平 91-1
電話 0175 (26) 2036 FAX 0175 (26) 2955

【HP】 <http://michinokufukushikai.jp>

令和2年度 事業報告

はじめに

新型コロナウイルス感染症の感染拡大、それに伴う「緊急事態宣言」発令で令和2年度は始まりました。

振り返れば、全職員と共に「社会福祉法人」で働くことを強く再認識する一年となりました。国内では、経済を下支えするとの触れ込みで「GO TO キャンペーン」などが行われ、果たしてそれは、いま行うことなのか？の疑問の中、全職員にむけて強い行動制限のお願いをしました。

「社会福祉法人とは医療にとっても近く、そこで働く我々は利用される方々の日常を守る義務がある」の信念のもと、高度な感染予防対策を行いました。

おかげさまで、全国及び県内の同様事業所がクラスター感染に見舞われている中、感染ゼロで本日を迎えています（5月26日現在）。

役員の皆様には、この間とてもご心配をおかけしました。また、感染予防措置などたくさんのご指導をいただき感謝申し上げます。勇気づけられました。

この事業報告を書いている時点で、県内ではまだ多くの感染報告がされております。気を緩めることなく、事業を行ってまいりたいと思います。

【工房歩みの挑戦】

新型コロナウイルス禍にあって、就労支援事業所の工房歩みは、パンの受注落ち込み、販売機会の喪失、クリーン事業部では公共施設の期間閉鎖による就労機会の減少による工賃の減少が彼らを襲うこととなります。

しかし、彼らはピンチをチャンスと捉え「新商品の開発」に取り組みます。この取り組みは大きな感動を呼び、たくさんの味方をつけ「菓秋～夏秋イチゴのマドレーヌ」を誕生させることになりました。また、これらの出来事はクリーン事業部の新規受注も成し遂げることとなり、新たな就労機会を増やすこととなります。

暗く落ち込みがちな社会情勢にあって、彼らが放った輝きはとても眩しく明るいニュースとなりました。

【コロナ禍での事業運営で】

方針を「大きく整理整頓し、そして挑戦する」と定め、スタートした令和2年度でしたが、コロナ禍での事業運営は「とても大きな力」により、原点回帰することを余儀なくされました。

我々の職務は誰のため、何のために行うのか。

「福祉」とはどのような仕事なのか。

我々が現在しなければならないことは何か。何ならでできるのか。

など、法人の理念「寄り添い、共にあり続けること」を再度認識しなければ、コロナ禍での事業運営は「軸」を見失い、右往左往することになったと感じています。

入所事業所では「施設内にウィルスを持ち込まない」ことをベースに事業を行いました。そのことは「職員の私生活の制限」を意味しましたが、全職員の理解、協力のもと現在に至ります。通所事業所ではさらに「利用者様のご家族」にも感染予防にむけたご理解、ご協力を頂きました。詳しくは法人本部の報告資料に感染予防に関する報告が記載されてあります。この感染症は誰でもかかります。

しかし、新型コロナウイルスに罹患したとしても、共に感染予防に努めていたら心配されるような「誹謗中傷」は起きないのではないかと考えています。

コロナ禍による、社会の分断が問題視されていますが、この新型感染症はもしかしたら「自分以外の誰かを想うこと」を我々に試しているのではないかと感じます。

この新型感染症の感染予防の基本的な行動の原点は「自分が罹らない」だけではなくて、「もしかしたら自分がすでに罹っていて、知らずに誰かにうつしてしまうかもしれない」という思いからのマスク着用、手指消毒などはずです。また、誰かが感染したとしても「その誰かを大事に想うこと、早期の回復を願うこと」が大事だという「人として、あたりまえ」のことを忘れてはいけないのだと思います。

経済のグローバル化によって、企業経営のルールが世界標準になり、それとともに「権利」を主張する社会に、知らず知らずのうちに私たちの生活も変容してきていると感じていました。「権利」を主張すれば「義務」も当然発生します。ギスギスした世の中で生き残るために、自身の行動ばかりに目が行き、知らないうちに「隣の人」が見えなくなっているのかもしれない。

我々は、地域社会において、日が当たらず暗がりに置き去りにされる人間を作ってはいけないとする想い、行動が「社会福祉法人」の使命だと再認識することになりました。

【経営にかかる数字について】

平成30年から令和元年にかけて、大規模な施設整備、事業拡張が行われてきました。令和2年度は元年度と比べて大きく収益性は改善しました。

そのような中でも、職員への実質給与所得は元年度と比べて大きく5%ほど（約4200万円）増加しました。内容は「夜勤手当の充実」「公的資格手当の充実」「新型コロナ禍での職務慰労金」の3つが増加の要因となります。

本業の業績数字では、前年度は大型施設整備事業により-1900万円だったものが、今年度は1780万円となり実質プラス3500万円強数字をもとに戻しております。（事業活動内訳表参照。サービス活動増減差額）

「経営数字の適時把握」が徐々に効果が出てきたのではないかと感じています。

また、法人経営においては、金銭事故の無いように「公認会計士」の先生による内部統制の強化をご指導いただいております。特に施設長、出納関係職員には「内部統制の重要性」をさらに説き、公正かつ有益な事業活動を行っていきたいと思います。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年でしたが、それは「社会福祉法人 みちのく福祉会」の存在意義を明確に職員と共に認識しなおすことができた一年でもありました。原点に立ち返り、地域社会に無くてはならないものとして今後も責任ある経営に努めてまいりたいと思います。役員の皆様には、かわらずご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

令和3年6月
社会福祉法人 みちのく福祉会
理事長 内田 大輔

■監事監査

・令和2年5月27日実施

■理事会

実施日	議案
令和2年6月5日	<ul style="list-style-type: none">・令和元年度 事業報告・令和元年度 監事監査報告・令和元年度 決算計算書類及び財産目録の承認について・常勤役員報酬 令和2年度年支給額について・契約について・令和2年度第1次補正予算について・しもきた療育園 定員変更について・しもきた療育園 運営規程の変更について・定時評議員会議決の省略について・定時評議員会への提案の件
令和2年9月4日	<ul style="list-style-type: none">・役員等の欠員補充について・業務報告・新型コロナウイルス感染症の対応について・新型コロナウイルス感染症福祉従事者慰労金について・運営規程の改正について・就業規則の変更・送迎バス入替えに伴う売却について・見積合せによる物品購入について・補正予算について・評議員会の開催について
令和3年1月14日	<ul style="list-style-type: none">・業務報告・育児・介護休業等に関する規程の改正・こども発達支援センターりりい運転資金借入について・令和2年度指導監査及び障害福祉サービス事業所実地指導監査結果について・こども発達支援センターりりいの定員変更について・ちゅうりっぷ多機能型サービスの追加について・補正予算について・評議員会の開催について
令和3年3月16日	<ul style="list-style-type: none">・諸規程の改正・運営規程の改正・ちゅうりっぷ多機能型事業所への変更に伴う国庫補助財産処分（転用）について・令和2年度 最終補正予算・令和3年度 事業計画・令和3年度 当初予算・令和3年度 施設長の選任・他法人との連携協定について・陽幸園スプリンクラー発電機修繕について・明の星短期大学専門職育成奨学金の状況について・評議員会の開催について

■評議員会

実施日	議案
令和2年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 事業報告 令和元年度 監事監査報告 令和元年度 決算計算書類及び財産目録の承認について 常勤役員報酬 令和2年度年支給額について 令和2年度第1次補正予算について しもきた療育園 定員変更について しもきた療育園 運営規程の変更について
令和2年9月15日	<ul style="list-style-type: none"> 業務報告 新型コロナウイルス感染症の対応について 新型コロナウイルス感染症福祉従事者慰労金について 運営規程の改正について 就業規則の変更 送迎バス入替えに伴う売却について 見積合せによる物品購入について 補正予算について
令和3年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> 育児・介護休業等に関する規程の改正 こども発達支援センターりりい運転資金借入について 令和2年度指導監査及び障害福祉サービス事業所実地指導監査結果について こども発達支援センターりりいの定員変更について ちゅうりっぷ多機能型サービスの追加について 補正予算について
令和3年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> 諸規程の改正 運営規程の改正 ちゅうりっぷ多機能型事業所への変更に伴う国庫補助財産処分（転用）について 令和2年度 最終補正予算 令和3年度 事業計画 令和3年度 当初予算 令和3年度 施設長の選任 他法人との連携協定について

■公認会計士による業務支援

- 令和2年 8月 3日 四半期往査1回目 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、3回となる。
- 令和2年11月 4日 四半期往査2回目
- 令和3年 2月12日 四半期往査3回目
- 令和3年 4月 5日 現金実査、棚卸立ち合い、金融機関確認状の発送
- 財務会計に関する内部統制及び事務処理体制の向上に対する支援業務報告書

■職員大会

令和3年3月25日 職員大会開催。

次年度法人事業方針、36協定・就業規則変更等の説明等。

SDSチェック表の評価。新人職員への虐待防止指導。

ISO

2015年版 認証

実施日	内容
令和2年3月4日～3月24日	内部監査（全事業所）
令和2年11月12日～13日	ISOサーベイランス審査

施設監査

1. 障害者支援施設 陽幸園 実地指導
 - ・実施日 令和2年9月28日
 - ・監査主体 青森県監査指導課
 - ・指摘事項 無し

2. 白百合保育園 指導監査
 - ・実施日 令和2年9月29日
 - ・監査主体 青森県監査指導課
 - ・指摘事項 有り

3. 小川町第二白百合保育園 指導監査
 - ・実施日 令和2年9月29日
 - ・監査主体 青森県監査指導課
 - ・指摘事項 無し

4. 障害者支援施設 しもきた療育園 実地指導
 - ・実施日 令和2年9月30日
 - ・監査主体 青森県監査指導課
 - ・指摘事項 無し

5. こども発達支援センター りりい 指導監査・実地指導
 - ・実施日 令和2年10月1日
 - ・監査主体 青森県監査指導課
 - ・指摘事項 有り

6. 障害児入所施設 はまゆり学園 書面監査
 - ・実施日 令和2年10月
 - ・監査主体 青森県監査指導課
 - ・指摘事項 有り

7. 小規模保育事業所 ナーサリーしらゆり 書面監査
 - ・実施日 令和3年3月
 - ・監査主体 むつ市
 - ・指摘事項 無し

■施設整備等

●補助金事業

1. 令和2年度青森県障害福祉分野介護ロボット等導入支援事業費補助金

補助金額：マッスルスーツ（パワースーツ） 4台 594,000円

障害者支援施設 陽 幸 園 2台

障害者支援施設 しもきた療育園 2台

職員の腰痛防止対策として、パワースーツを導入。利用者の皆さんの身体介助時使用



2. 新型コロナウイルス感染症関係補助金

・むつ市 新型コロナウイルス感染症包括支援事業補助金
3保育施設 補助金額合計：1,500,000円

・青森県 感染症対策徹底支援事業補助金
障 害 施 設 補助金額合計：7,550,000

・青森県 就労系障害福祉サービス機能強化事業補助金
工 房 歩 み 補助金額：500,000円

3. むつ市 新商品開発支援補助金

工 房 歩 み 補助金額：200,000円

夏秋いちごのマドレーヌを新商品として開発。開発経費の一部を補助金受領。

■感染症対策

●新型コロナウイルス感染症対策

- ・感染予防対策委員会による、感染予防啓発
- ・新型コロナウイルス感染症マニュアル・ガイドラインの見直し
- ・全施設物品の確保、シュミレーションの実施
- ・新型コロナウイルス感染オンライン研修受講
- ・大型加湿空気清浄機導入
- ・職員の外出自粛
- ・手洗い、うがい、手指消毒の徹底
- ・リモート会議、テレワークシステムの導入
- ・事業継続計画（BCP）作成

会計実務担当事務員へ向けて、会計処理・予算管理・決算実務等の指導、ルール確認を実施。会計実務レベル向上の取り組みを行った。



■研修関係

令和2年度は、管理者研修に重点を置き実施。コロナ禍でオンラインセミナーの開催が増え、従来参加人数が限られていたが、同じ研修を全管理者に受講させることができた。

●社会保険労務士による管理者向け「ハラスメント研修」(オンライン)

対象者：全施設管理者

●がんキャンセミナー(オンライン)

対象者：法人本部 健康推進担当者

内容：がん治療経験者による、がん検診の大切さ、治療しながら仕事をする環境等。

●会計実務者決算講座(オンライン)

対象者：全施設 会計実務担当者

●会計実務財務管理セミナー(オンライン)

対象者：法人本部 会計実務担当者

●社会福祉法人経営者研修会 経営管理コース(オンライン)

対象者：全施設管理者

●共生型サービス はじめの一步研修(オンライン)

対象者：法人本部、施設長

●働き方改革説明会

対象者：法人本部労務管理責任者、施設長

場所：下北文化会館

●パワハラ対策等労務管理研修

対象者：法人本部労務管理責任者

場所：下北合同庁舎



●オンライン職員研修「サポーターズ・カレッジ」

対象者：障害施設

職員の人材育成として1回 15分から30分の内容でweb講義を配信しています。令和2年度も引き続き障害施設の施設内研修に導入。

■職員の健康推進

●職員健康診断の充実

定期健康診断・・・受診率 100%

各種がん検診・・・受診率 95%

●職員の健康推進

インフルエンザ予防接種費用の助成

感染症予防研修の実施

施設内全面禁煙、喫煙所の設置

⇒むつ市すこやかサポート事業所の認定更新

■公益的取り組み

●青森しあわせネットワークへの参加

「社会福祉法人の社会貢献活動」

経済的援助 実績なし

ワークサポート 1名 工房歩みにて実施

■採用活動と奨学金制度

●高等教育機関との連携

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、大学短大の就職説明会への参加を見送り。

各学校への求人票送付、施設実習生へのアプローチにより新卒採用を実施。

令和3年4月採用4名となる。

また、青森県企業ガイドブック2021に求人広告掲載申込。

●奨学金制度

・青森明の星短期大学学生への奨学金（R1年度 奨学生3名）

令和2年4月、奨学金貸与学生1名が障害者支援施設 陽幸園へ就職

令和2年度新規奨学金契約1名

・おかえり奨学金制度

令和2年4月、おかえり奨学金制度活用学生1名が障害者支援施設 陽幸園へ就職

社会福祉法人 みちのく福祉会 (令和3年3月31日現在)

	名 称	職員数	利 用 定 員
1	法人本部	5	
2	障害者支援施設 陽幸園	36	(生活介護・施設入所支援) 50名 (短期入所事業) 3名
3	福祉ホーム たんぼぼ		5名
4	障害福祉サービス すまいる	8	(生活介護) 20名
5	放課後等デイサービス キッズすまいる	5	(放課後等デイサービス) 20名
6	障害者支援施設 しもきた療育園	37	(生活介護・施設入所支援) 40名 (短期入所事業) 2名
7	相談支援事業所 ぱれっと	2	
8	放課後等デイサービス ちゅうりっぴ	2	(放課後等デイサービス・ 児童発達支援) 10名
9	障害福祉サービス事業所 工房「歩み」	17	(就労継続支援B型) 34名 (就労移行支援) 6名
10	共同生活事業所 陽まわり荘	3	(1号館：女性) 5名 (2号館：男性) 5名
11	障害児入所施設 はまゆり学園(指)	25	(福祉型障害児入所施設) 30名 (短期入所事業) 2名
12	白百合保育園	26	120名
13	小川町第二白百合保育園	26	110名
14	風間浦保育所(指)	14	40名
15	ナーサリーしらゆり	11	19名
16	こども発達支援センター りりい	12	(児童発達支援事業) 12名 (放課後等デイサービス) 8名
合計		229	541名

